

令和6年度甲賀市市民協働事業提案制度 地域資源の見える化
〈地域共生社会推進課 × みんなでe-こうか〉

いつのまにやら地域づくり
「第四の縁」事例集

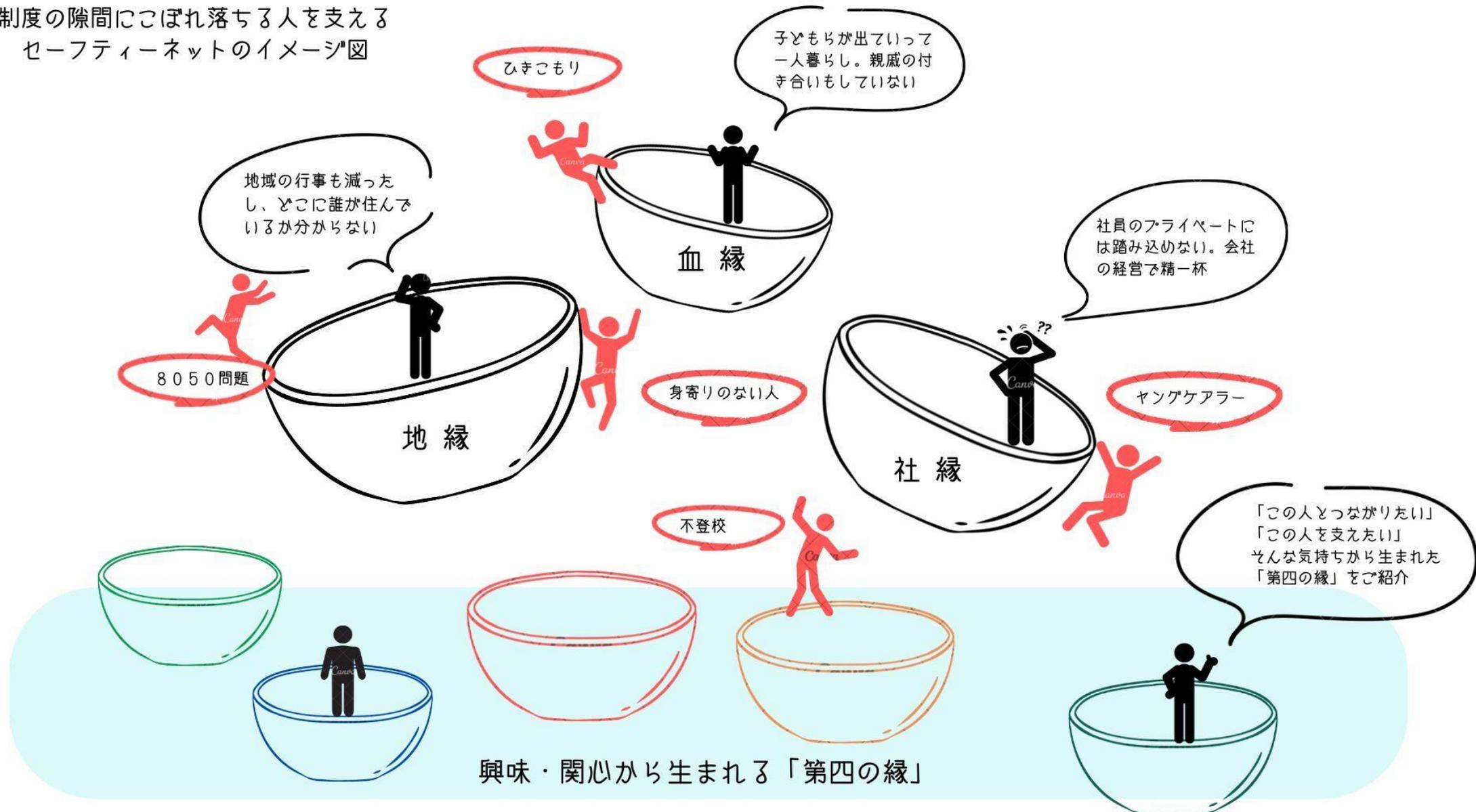
「やってみたい」から始まる
誰でも参加できる
みんなで取り組む
自由な発想が生まれる
おもしろい！ たのしい！

はじめに

- ◎地域共生社会の実現に向けた、重層的支援体制整備事業をはじめとする包括的支援体制の整備の最大の目標は、社会的孤立を防ぐことです。
- ◎「新しい豊かさ」を追求し、「新しい支え合い」の形を模索するのは、今の豊かさや支え合いでは、社会的孤立は防げないからです。
- ◎今は、その「新しいもの」が創出されるプロセスの道半ばにいます。社会的孤立を防ぐであろう新しい縁を、「第四の縁」と仮称し、地域共生社会の実現に向けた取組を進めていきます。

これからのセーフティネットは「第四の縁」で

制度の隙間にこぼれ落ちる人を支える
セーフティネットのイメージ図



地縁・血縁・社縁に次ぐ新しい縁

「第四の縁」ってなんだろう

- ◎かつては、地縁・血縁・社縁といったつながりがセーフティネットとなり、さまざまな困りごとを抱える個人や家族を支えていました。
- ◎しかし、急速な社会変化に伴い、三つの縁の機能が弱くなり、制度の隙間にこぼれ落ちてしまう人が増えてきました。例えば、ひきこもりがちな人や、ヤングケアラー、不登校生徒・児童、身寄りのない高齢者などです。
- ◎そのようななかで、「この人とつながりたい」「この人を支えたい」という気持ちでスタートした活動があります。興味・関心や思いを分かち合うことから生まれる「第四の縁」です。

生きづらさや困りごとを 「第四の縁」でなんとかする

- ◎ヤングケアラーや不登校といった生活課題はさまざまな事情が複雑に絡んでおり、簡単に解決できないからこそ、当事者である子どもやその家族の悩みは深いといえます。
- ◎即座の解決とはいきませんが、つながることなら周囲の者にもできるかもしれません。日々、生きづらさを抱え悩んでいる人が孤立を深めずにすむのなら、伴走するようにつながることは大きな支えとなります。

隙間の困りごとは、分野横断で受け止める

- ◎生きづらさを支えるセーフティネットは、介護、障がい、生活困窮、子育てなど、分野や制度別に発展してきた経緯があります。そのため、分野を跨いだ複合的な困りごと（8050問題）や、制度に該当しない隙間の困りごと（ひきこもりなど）が喫緊の生活課題となっているのです。
- ◎そのように考えると、興味や関心を共通項として生まれる「第四の縁」は、分野や属性を問わないつながりでできており、これからのセーフティネットの基盤となるではないでしょうか。

偶然性に期待して、ゆるくスタート

- ◎「第四の縁」を立ち上げるなんて、何だか大変そうだと感じられる方がおられるかもしれません。
- ◎しかし、綿密に計画を立てて、その通りに実施しようとするれば、義務的になってワクワク感が薄れてしまいます。
- ◎「第四の縁」は、やってみてはじめて生まれる価値を楽しんでいたり、楽しんでいたらいつのまにか仲間が増えてくれたくらいでスタートする方が、かえって上手くいくのかもしれません。

「第四の縁」が通用する地域社会に

- ◎今のところ、「第四の縁」は、強制力も説得力もありません。
- ◎しかし、「第四の縁」のつながりこそが、唯一のつながりで、心の支えになっている人もいるでしょう。
- ◎例えば、将棋仲間が身元引受人に、ダンス仲間が財産管理人として役割を果たせるような、社会の側の寛容さが必要かもしれません。
- ◎育み合い、認め合い、許し合える、寛容な地域づくりが甲賀市の地域共生社会の実現に必要な風土なのかもしれません。

行政に必要な応援力

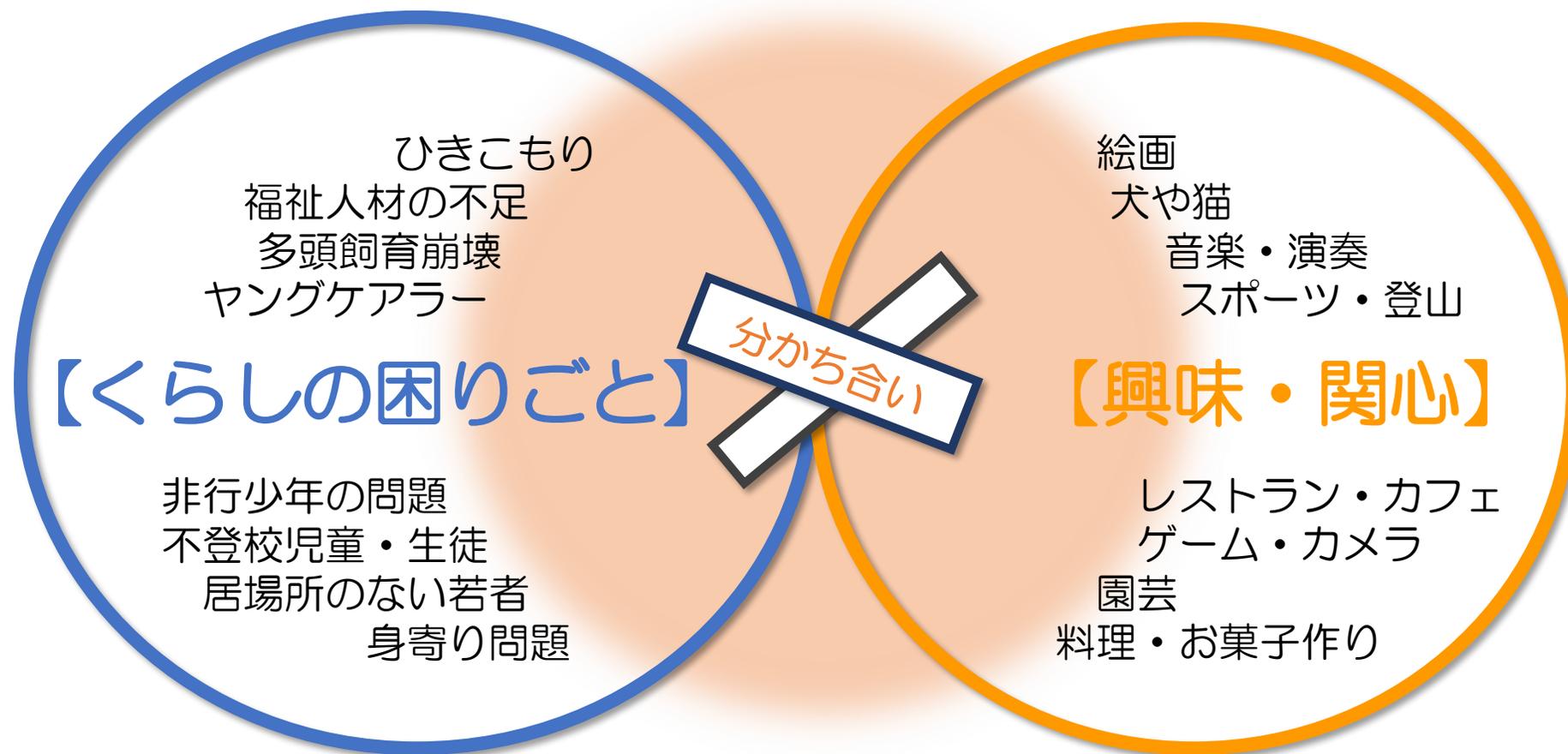
- ◎地域共生社会の実現に向けたこれからのセーフティネットの基盤として、「第四の縁」のようなつながりを置いて、さらに、そこから関係性が広がるよう地域住民の主体性を尊重することが大切です。
- ◎それは、行政側から「計画通りに実施してください」などと、一方的な形をとってしまうのではなく、対話し伴走していく関係性なしでは実現しません。

「いつのまにやら」という感覚

- ◎例えば「身寄り問題」を、予算内で実施しようと計画してもなかなか思う様に進みません。
- ◎例えば「ひきこもり支援」を、アウトリーチ支援として、特定の事業者に委託するだけでは素敵な偶然は起こりません。
- ◎つまり、計画的な実施や意図的な試みが、うまく通用しない世界だといえます。
- ◎そこで、ふと注意を向けたら、既に「地域づくり」になっていたという感覚がヒントになるのです。

「分かち合い」を意識してみる

- ◎暮らしの困りごとと、地域住民の興味・関心は勝手につながらない。
- ◎コーディネーターが使用する接着剤として「分かち合い」が必要。



イノベーションサロン

【すき間の困り事全般】 × 【ワールドカフェ】

- 目的：専門職同士、または専門職と地域住民との顔の見える関係づくり
- 契機：福祉専門職が集まって情報交換し、励まし合える場をつくりたい
- 内容：4人のカフェマスターをゲストに福祉、保健、医療、教育、生活困窮、外国人支援、マイノリティ等をテーマにワールドカフェ形式で対話
- 頻度：年に1～2回
- 主催：みんなでe-こうか



コミュニティコーピング

【社会的孤立】×【ボードゲーム】

目的：地域の困りごとをみんなで考え、解決に結びつける仕組みづくりやクロス人材の育成

契機：一社）コレカラサポート提供「超高齢社会体験ゲーム」の体験から

内容：ボードゲームを通じて、孤立孤独の解消を考えるワークショップ

主催：みんなでe-こうか



年の暮れの夕暮れに

【生活困窮者】 × 【炊き出し】

- 目的：生活困窮者などの年末にひとりで過ごす方々に、温かい気持ちで新年を迎えてもらいたい
- 契機：断らない相談支援、炊き出しをやってみたい
- 内容：年末に炊き出しでもてなし、ゲームなどで交流、
- 頻度：毎年12月30日
- 主催：年の暮れの夕暮れに実行委員会



こうが人福祉・動物福祉

【多頭飼育崩壊】×【人と動物の共生】

目的：子どもたち、高齢者、障がいのある方、そして犬や猫にも優しい地域づくり

契機：多頭飼育ケースの背景にある人の問題を考えて

内容：官民協働の定例会議、
市民や児童への啓発、
わんにゃんボランティア
養成講座

頻度：月に1度の定例会議

場所：市役所内

主催：こうが人福祉・動物福祉協働会議



喫茶『閉庁二時間前』

【地域の相談窓口】 × 【カフェ】

- 目的：一緒に悩む相談窓口が必要
契機：市役所の相談窓口は敷居が高い
内容：コーヒーやレモネードを飲みながら相談
頻度：月に1回
場所：あいこうか市民ホール喫茶店
主催：ちょこプラ
健康・介護・発達障がい・子育て・美容、お口の相談・お金などの専門知識を持つスタッフで運営



誰でもチャレンジ けん玉道場

【不登校生徒・児童】 × 【けん玉】

- 目的：得意なけん玉で交流
契機：得意なことを見つけて伸ばす
自己肯定感を育む場所が欲しいな
内容：けん玉（得意なこと）をツールに交流する居場所
頻度：月に2回 17時から
場所：アルプラザ水口内
主催：誰でもチャレンジけん玉道場



おっちゃんのおむすび商店

【不登校生徒・児童】 × 【朝ごはん】

目的：朝ごはんを食べていない子どもに朝ごはんをしっかりと食べる毎日を過ごして欲しい

契機：生活リズムの悪循環から学校に通えない子どもたちとの出会い

内容：おむすびの提供
不登校傾向の児童、生徒、
若者の居場所づくり

頻度：毎週月曜日

場所：甲南町中部小学校地先

主催：社会福祉法人 甲南会



スマイル甲賀ほっとルーム

【不登校生徒・児童】 × 【学び舎】

目的：不登校気味の子どもたちが安心できる場所をつくりたい

契機：不登校気味の子の多さを知って

内容：ゲームやパソコンを通じた交流居場所の確保

頻度：毎週月・水・金
10時～17時

場所：甲賀町大原集会所

主催：スマイル甲賀

スマイル甲賀ほっとルーム 無料

ゆったりほっこり

学校へ行きづらい子どもたちの
ゆったりほっこりな居場所

日時 月/水/金曜日(祝日/お盆/正月除く)
①午前10時～午後3時 ②午前10時から12時
③午後1時～3時(ご都合の良い時間にお越しください)

場所 スマイル甲賀:市営住宅大原中地集会所
大原中1065 甲賀中学校正門から南西150m

スタッフが常駐してアシストします

ゆったり過ごそう!
タブレットでゲームや動画や...
WiFi環境を整えています

ほっこりしよう!
スタッフと料理やお菓子をつかってみんなで食べたり...

自由にのびのびと!
自分のやりたいことを考えて
気ままにマイペースで...

送迎については
保護者様の責任で
お願い致します

*家庭で食事が取れない子どもには
こちらで摂れる様に配慮します

この集会所は生活困窮者支援
事業の一環として設置
し、保護者様向けに開放して
います。

利用できるコト・フケイ
大原中地集会所

お申し込み・お問い合わせ
スマイル甲賀 代表 井村 篤彦
電話番号 090-8377-7972
メールアドレス
yukikawa@smile-akagi.com

令和6年
4月18日
スタート

THANK YOU



社会福祉法人連携 KOKA Synergy Link (シナジーリンク)

【福祉人材確保・定着】 × 【交流】 【互助】

目的：市内の社会福祉法人らが共通する課題に対して、公益的な取り組みがしたい、様々な波及効果を生みたい

契機：法人連携研修会後の飲み会
内容：人材確保、人材定着のために現地視察、情報交換

頻度：月に1回の定例会
研修会などは随時

場所：法人輪番
主催：シナジーリンク



こどもの居場所ばあちゃんち

【不登校生徒・児童】 × 【食堂】

- 目的：不登校気味の子どもたちを、ばあちゃんが温かく迎えたい。
- 契機：不登校気味の子が増えていると聞いたから
- 内容：昼食の提供、子どもたちや保護者の居場所、若者の居場所
- 頻度：月に2回
- 場所：水口町本町地先
- 主催：ばあちゃんら



哲学カフェ甲賀mysig

【ひきこもり】 × 【哲学】

目的：自由な発想によって、よりよく生きるための気づきをともに
に見つける場所

契機：生きづらさを持つ若者からの
提案をきっかけに

内容：お茶を飲みながら、みんなで
決めたテーマで対話する

頻度：2か月に1回

主催者：甲賀mysig



放課後キョロ いつでもおいで

【居場所のない子ども】 × 【サッカー】

- 目的：おとなしくても、やんちゃでも、一緒に動かすだけでいい場所がほしい
- 契機：参加する資格なんてなにもいらない居場所がほしい
- 内容：芝生で気楽にサッカーしよう
- 頻度：毎週水曜日 18時30分から
- 場所：甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」の中庭
- 主催：キョロちゃん



A vertical promotional poster for the 'After School Kyoro' soccer event. At the top, there are speech bubbles with Japanese text: '昔はスポーツしてたけど今は... またやげないな', 'ごでサッカーしていいの?やる!!', 'ゆる〜楽しくわけ〜楽しめる場所探してた...', 'なんか寂しいしやげない気分', and '運動は苦手だけど体育は嫌いじゃないでも増えるかな?から運動せんかったわ'. Below these is the event title '放課後キョロ' and 'いつでもおいで!'. The schedule is '毎週水曜日 18:30頃〜' with a note '1時間半くらいやってます'. The location is '場所 甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」外の芝生'. At the bottom, there is a QR code and the text 'キョロちゃんって、どんな人?' and 'キョロのInstagram'.



夏の夜のふしぎ

【こどもの未来】 × 【小説・演劇】

- 目的：全部見えちゃっている未来や
不思議な偶然が起こらない未
来なんてつまらない
- 契機：大原自治振興会の若者PJ
- 内容：地域の多様な社会資源を活用
した物語没入体験
- 頻度：夏休みの地域の行事
- 主催：夏の夜のふしぎプロジェクト



夏の夜のふしぎ

アフターコロナに、
未来のことを



夕食はJOYさん



忍びいろは



水出し文字



馬とリキト爺



虚無僧



あぶり文字



五色米



伝説の語り部

夏の夜のふしぎ

たしか、大谷翔平選手が結婚した年の夏休み。もう20年も前になる。あの日、まだ小学生だった私たちは、「ディズニーやUSJとは少し違う不思議な没入体験をしたんだ。大人になった今だから、その意味をちゃんと話すことができる。まみは大人になるまで、このことを秘密にしておくかい？

日 時 令和6年8月17日(土)
場 所 赤い屋根の古民家(甲南町杉谷3577)
集 合 午後5時に大原小学校の駐車場に集合
持 ち 来 このチラシ、水筒、ハンカチ
解 散 午後9時に大原小学校の駐車場で解散
費 用 無料
申 込 保護者を通じて申込んでください
先 着 6名、〆切:7月31日(水)
そ の 他 当日は簡単な夕食が出ます
主 催 大原自治振興会
合 せ 大原自治振興会 (TEL: 88-3111)
担 当 三市川

ふしぎな物語の
全貌が動画に!



女郎蜘蛛



赤い屋根の古民家

〇お申込みは、こちらのQRコードからお申し込み下さい(簡単な質問があります)
〇よろしければ、「懐かしい未来新聞」のNo.15~17(表紙)をご覧ください



難病カフェ ゆるり

【難病当事者】 × 【居場所】

- 目的：難病当事者やその家族が、互いの悩みを打ち明けながら、やりたいことを実現する
- 契機：県内にある難病応援センターの活動を知ってから
- 内容：おしゃべり、歌、食事作り
- 頻度：2か月に1回
- 場所：甲賀市まちづくり活動センター まるーむ
- 主催：難病当事者の会 ゆるり



難病当事者や
家族の集まり

ゆるり



地域(ふるさと)回想法

【認知症予防】 × 【ふるさと自慢】

目的：昭和のつながりこそ地域共生の原点。「暮らしの中にある昭和のつながり」を伝えたい。

契機：昭和の暮らしの記憶の見える化として、ふるさと絵屏風を制作

内容：民具を使った回想法、昔話、歌

頻度：随時

場所：最寄りの地域

主催：地域回想仕掛人



ノーリフティング

【福祉人材確保・定着】 × 【未来の介護】

目的：介護する人も介護される人も、
安心・安全・安楽な介護を普及
させたい

契機：力任せにの介護による不適切な
ケアが介護のイメージを悪化さ
せ、担い手不足を助長している
現状に課題を感じて

内容：出前講座・福祉用具体験会
介護・福祉用具相談
多職種の情報共有サイト運営

頻度：随時

主催：オール甲賀で優しい介護をつなげ隊



笑察 《省察》 カフェ

【専門職の悩み】 × 【おとなの学び】

- 目的：対人専門職のスキルアップ、
エンパワメント
省察的実践家の育成
- 契機：複雑、困難なケースに対する
解決能力や多職種連携の必要性
- 内容：対話によるラウンドテーブル、
気づきとふりかえりの言語化
- 頻度：3か月に1回
- 場所：随時
- 主催：KOKAプロボノの会



ようこそ
察カフェへ

アイデンティティの強化をめざし
2025.1.11



ワカモンラウンド

【つながりづくり】 × 【対話の場】

目的：39歳以下の若者世代のつながりづくりと地域参画

契機：地域に若者の居場所が少ないことに危機感を感じて

内容：定期的に、ざっくばらんに語り合う対話の場づくりをワークショップ形式で実施

頻度：1～2か月に1回

主催：ワカモンラウンド実行委員会



第四の縁は、小さくてもいい

第四の縁は、非対称の関係性でも
まとまりがなくてもいい

他にも自発的な取り組みはきっとある
対話を重ねて応援したい

本事例集は、市民活動団体「みんなでe-こうか」と、地域共生社会推進課が協働事業を行い、地域資源の見える化の成果物です。そのため「みんなでe-こうか」や「地域共生社会推進課」との関りが強い取り組みが掲載されています。

今後は、甲賀市にある「第四の縁」に関わる取り組みを追加で掲載していく予定ですので、ご覧いただいた皆様からの情報をお待ちしています。

【お問い合わせ】

滋賀県甲賀市役所 健康福祉部 地域共生社会推進課
住所：甲賀市水口町水口6053 ☎0748-69-2155